



2011年7月19日

報道関係各位

株式会社インテック

**インテックがホームページの IPv4/IPv6 アクセス比率を解析する
アクセス解析ツール「IPv4/IPv6 メーター」を無償で提供**

ITホールディングスグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：金岡克己、以下インテック）は、ホームページにアクセスするユーザのIPv4とIPv6の比率を簡単に解析できるアクセス解析ツール「IPv4/IPv6メーター」を専用サイト（<http://inetcore.com/project/46meter/>）にて本日より無償提供いたします。

本アクセス解析ツールをご利用いただくことで、ホームページがIPv6に対応していない場合でも、ホームページを閲覧するユーザのIPv6のアクセス率を把握できるようになります。これにより、IPv6でのアクセス状況が確認でき、IPv6対応時期の判断材料の一つにさせていただきます。なお、インテックでは、本アクセス解析ツールによって計測したIPv6のアクセス状況を、個々のホームページを特定しない形で、公開する予定です。

■ これからの IPv6 の可能性

2011年2月3日にIPv4アドレスの「世界在庫」が枯渇し、その2ヶ月後の4月15日にはアジア太平洋地域の在庫がなくなり、新規のIPv4アドレスブロックの割り振りが事実上終了しました。これに伴い、日本国内ではプロバイダーを中心に本格的なIPv6対応が始まりつつあります。

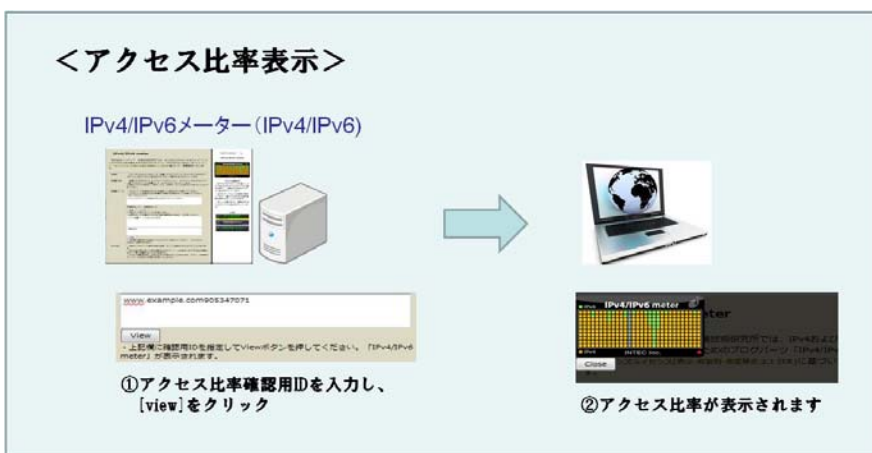
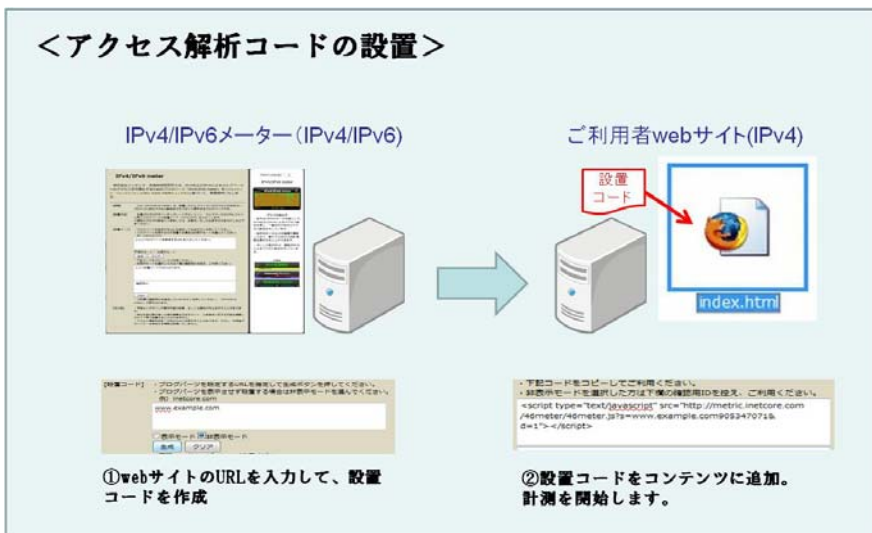
IPv6は、単にアドレス枯渇問題への対応だけではなく、セキュリティやマルチキャストなどの機能面でも優れています。また、家電製品、携帯端末、スマートグリッド機器、ビル・車載等のセンシング装置をはじめとした様々なものにIPアドレスを割り振ることが可能で、これまでデジタル化されていなかった情報がネットワーク上に流れるようになります。これによってより身近でタイムリーな情報提供や制御が可能となり、新たなネットワークサービスが生まれる可能性が出てきました。

インテックは、業界のけん引役として、お客さまのIPv6への確実な移行を支援するとともに、IPv6を活用した新たなビジネスの可能性を目指しています。

■ IPv4/IPv6メーターについて

IPv4のみに対応したホームページ（IPv6非対応ホームページ）では、ユーザのIPv6アクセス率を把握することができません。しかし、本アクセス解析ツールを利用することで、ホームページにアクセスしたユーザIPv6の対応状況を確認できます。

「IPv4/IPv6メーター」は、利用するホームページ上に設置コードを追加するだけで簡単に利用することができます。本アクセス解析ツールおよびホームページにアクセスしたユーザのIPv6アクセス率は、「IPv4/IPv6メーター」専用のサイト（<http://inetcore.com/project/46meter/>）にて無償で利用いただけます。



■インテックのIPv6への取り組み

インテックは、IPv4アドレスの枯渇に伴う社会的な問題を懸念し、2002年にIPv6の技術研究と、円滑な移行支援を目的とした株式会社インテック・ネットコア※（以下 ネットコア）を設立しました。以降、総務省や業界団体で組織する「IPv4アドレス枯渇対策タスクフォース」で業界をけん引するとともに、総務省のIPv6移行実証実験のとりまとめや、経済産業省のデュアルスタック環境（IPv4とIPv6とが同時に動作する環境）の動作検証などに取り組んできました。また、IPv4枯渇時計をはじめ、IPv4アドレス枯渇対応アプリケーションチェックリストなどの公開も行っています。さらに、通信事業者をはじめ、一般企業向けにも導入支援やコンサルティングを手がけています。

※現在、ネットコアはインテック「先端技術研究所」として引き続き研究開発を行っています。

以上

<本件についての報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社インテック 秘書・広報室 五十嵐
 電話：076-444-8008 / E-mail：press@intec.co.jp

<お問い合わせ先>

株式会社インテック 先端技術研究所 研究開発部 永見、廣海
 電話：03-5665-5011 / E-mail：v6-info@intec.co.jp

◆ITホールディングスグループについて

ITホールディングスグループは、様々なお客様をITで支援するITエキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。